

令和6年度 小川北義務教育学校グランドデザイン

校 訓

力をつけよう 心をみがこう 気力をもとう

学校教育目標

温かい心で人と関わり 未来を切り拓く
たくましい児童生徒の育成

本県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

本市の教育目標

確かな学力と
たくましい体を持ち
郷土を愛する
こころ豊かな 人づくり
本市の教育理念
夢と希望を抱き
自らの明日を切り拓く
人づくり

学校経営の方針 児童生徒一人一人を大切にす る 魅力ある学校づくり

組織目標

子どもが主役！ 子どもの活躍する場面を多くする
～4つの合い 「学び合い」「認め合い」「高め合い」「つながり合い」～

目指す学校像

- 児童生徒が主体的に楽しく学ぶ学校
- 地域から信頼される魅力ある学校
- 教師がやりがいを感じる学校

目指す児童生徒像

- 夢や目標をもって、自ら学び続ける児童生徒
- 思いやりがあり、互いのよさを認め合う児童生徒
- 活力があり、心も体もたくましい児童生徒

目指す教師像

- 児童生徒とともにある人間性豊かな教師
- 教育への情熱と使命感をもつ教師
- 信頼され、時代の要請に応える教師

9年間を見通した学びの継続・特色ある教育

- * 教科担任制と学び合いを核とした学習指導
 - ・教職員の交流による一貫教育の推進
 - ・さまざまな場面での効果的なICTの活用
- * 体験を重視した創意ある教育活動の推進
 - ・児童生徒の思いを生かした地域貢献活動
 - ・異学年交流を生かした教育活動の充実
- * 学校運営協議会と一体となった学校づくり
 - ・地域と連携した人的・物的資源の積極的活用
 - ・地域と連携した安全体制の構築

前期 (1～4年)	中期 (5～7年)	後期 (8～9年)
<p>自分や友達のよさを見つけ、 交友を広げ助け合える児童</p> <p>夢をもつ 自己認識期</p>	<p>積極的に地域と関わり、より よい生き方を考える児童生徒</p> <p>希望を掲げる 自己育成期</p>	<p>未来を見据え、 自己確立を目指す生徒</p> <p>大志を抱く 自己確立期</p>
<p>夢や目標をもって、自ら学び続ける児童生徒</p> <p>* 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり</p> <p>< 重点施策 > ○教科担任制の活用 ・前期課程からの段階的教科担任制の導入 ・専門性を生かした魅力ある授業の展開</p>	<p>思いやりがあり互いのよさを認め合う児童生徒</p> <p>* 思いやりの心を持ち、互いのよさを認め合える学級・学年集団づくり</p> <p>< 重点施策 > ○基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上 ・いじめの未然防止と早期発見・早期対応 ・自分から元気に挨拶、はっきり返事</p>	<p>活力があり、心も体もたくましい児童生徒</p> <p>* 健康で安全な生活を送るための生活習慣・運動習慣づくり</p> <p>< 重点施策 > ○体力向上に向けた取組（握力、投力） ・体力アップ月間の設定 ・体育の授業での補強運動の継続 ・縦割り班での体力アップメニューの工夫</p>
<p>○主体的・協働的に学ぶ授業の推進 ・アウトプット（学び合い・発表）を重視した授業づくり ・学習意欲を喚起する課題設定の工夫 ・「見通し」をもち「振り返り」のある授業づくり ・小川北授業スタイルの共通実践と充実</p> <p>○ICTを効果的に活用した教育の推進 ・ICTを活用した個別最適な学び（AIドリルの活用）、協働的な学び（発表）の工夫 ・思考を助ける手立てとなるICT活用 ・情報活用能力、情報モラルの育成</p>	<p>○一人一人を大切にす る教育の推進 ・考え議論する道徳の授業の実践 ・人権フォーラム・思いやり集会の実施 ・マナーアップ運動の展開 ・合意形成のための話し合い活動の工夫</p> <p>○自己肯定感、自己有用感の育成を図る特別活動の展開 ・一人一人の出番を多くする工夫 ・主体的な児童生徒会活動 ・前期課程修了式の実施 ・発達段階に応じた地域貢献活動（KSD）</p> <p>○異学年交流を生かした人間関係づくり ・児童生徒会が企画・運営する縦割り班遊び ・前期課程の縦割り班清掃 ・9学年合同学校行事の実施</p> <p>○読書活動の推進 ・「話し方教室」「こんべいとう」の2団体との連携と縦割り班の活用 ・前期課程における学校読書賞の実施</p>	<p>○体系的な健康教育の実践 ・発達段階に応じた歯磨き指導 ・がん教育・薬物乱用防止教室の実施 ・性教育・生きる教育講演会の実施 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣の確立 ・栄養教諭と連携した食育指導 ・感染症予防に関する自己管理能力の育成</p> <p>○自己管理能力の育成を目指した健康・安全教育の推進 ・危機予測・回避能力を育てる安全教育の実施（交通安全教室・防犯教室等の開催） ・SOSの出し方の指導 ・計画的な教育相談体制の確立 ・情報モラル教室の開催</p> <p>○学校運営協議会、地域との連携 ・地域コミュニティとの協働による地域行事 ・保護者や地域と連携した登下校の見守り ・地域の人的・物的資源の開発と活用</p>

< 数値目標 知 >

- 「授業が分かる」80%
- 「授業が楽しい」85%
- 「自分の考えを伝えられる」70%
- 「自学や宿題を自分から行っている」80%

< 数値目標 徳 >

- 「あいさつができる」90%
- 「学校が楽しい」92%
- 「自分によいところがある」80%
- Q-Uテスト：学級生活満足群 60%

< 数値目標 体 >

- 体力テストA+Bの割合 55%以上
D+Eの割合 20%以下
- 「健康や安全に気を付けている」95%
- 「早寝・早起きができている」90%

【特別支援教育の充実】

- ユニバーサルデザインを基盤とした授業づくり
- 特別支援教育C oを中心とした支援の充実
- 個別の指導計画と評価の工夫
- 保護者、関係機関との連携

【開かれた学校づくりの推進】

- 学校だより、HPを活用した積極的な情報発信
- 学校運営協議会、地域学校協働本部との連携
- 保幼小接続カリキュラムの充実
- 学校評価の実施・公表・積極的な活用

【教職員の資質・能力の向上】

- 校内研修の充実とOJT研修の推進
- 外部機関との連携（訪問指導の活用）
- 学校運営への積極的な参画
- 教員評価、人事評価の効果的な活用

【服務規律の確保と学校事故の未然防止】

- 危機管理マニュアルの見直しと多様な避難訓練の実施
- 教職員の危機管理意識の高揚と事例研修会の充実
- ボトムアップ型コンプライアンス研修による服務規律の徹底

【働き方改革に向けて】

- 働くことが楽しく、子どもと向き合う時間を大切にできる職場づくり
- ワークライフバランスを大切にす る働き方改革の推進
～超過時間勤務 月45時間以内、週2日の個人による定時退勤日～